2018年(平成30年) 汗机大使のヒロシマ目記

川西市では、非核平和都市宣言の趣旨にのっとり、市民平和推 進事業として、毎年「折り鶴平和大使」派遣事業を実施しています。 この事業は、今回で、15回目となりました。

今年度の折り鶴平和大使に公募で選ばれたのは、市立明峰中 学校1年生の石津 杏さんと大阪教育大学附属池田小学校5年生 の戸口 紗良さんです。

2人の大使は、8月6日に広島市で開催されました平和記念式典 に市民の代表として参列するとともに、市民が平和への願いを込 めて折ったりんどう色の折り鶴を平和公園の 原爆の子の像に捧げてきました。

た。(石津

8月5日(日)

広島到着



市民から寄せられた約1万5千羽の折り鶴

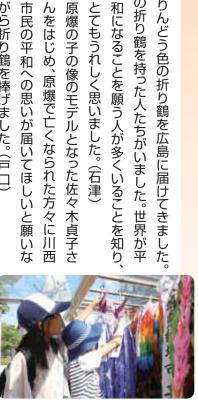


原爆の子の像の前で

折り鶴を捧ぐ

川西市の市花であるりんどう色の折り鶴を広島に届けてきました。 私たちの他にも多数の折り鶴を持った人たちがいました。世界が平

原爆の子の像のモデルとなった佐々木貞子さ がら折り鶴を捧げました。(戸口) 市民の平和への思いが届いてほしいと願いな んをはじめ、原爆で亡くなられた方々に川西 とてもうれしく思いました。(石津)



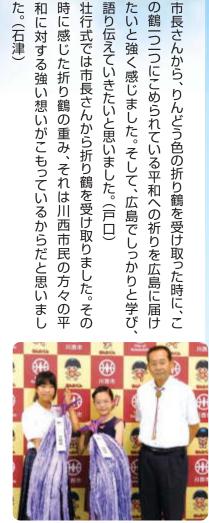
折り鶴を捧ぐ

原爆ドームの建て物の下は、あれから73年もたった 今も、がれきやれんがの破へんが辺りにちらばってい ました。改めて戦争は絶対になくさないといけない て、時が止まってしまっているようで、きょうふを感じ と思いました。(戸口)

-ム前にて

原爆ド-

った産業奨励館が後の原爆ドームだと考えると、改 原子爆弾が投下される前、あんなに大きくきれいだ めて原子爆弾の威力に恐怖を感じました。(石津)



語り伝えていきたいと思いました。(戸口)

8月1日(水

市

役所にて壮行式

市長から折り鶴を託される2人

広島平和記念資料館など見学

| 国立原爆死没者追悼平和祈念館を見学し、「被爆体験朗読会|

にも参加しました。朗読していただいた詩の中で一番印象に



広島平和記念資料館では原子爆弾が投下された時のことから そうがなかったら、おとうちゃんはしななかったろう」という所 残っているのが、「おとうちゃん」という詩です。この詩の「せん て、二度と戦争を起こしてはならないと強く感じました。(戸口) を聞いて、おとうさんを亡くした子どもの絶望感が伝わってき

の時何があったのかを知ることで、戦争の悲惨さ、恐ろしさを学ぶことができました。(石津 てしまうものや、言葉を失ってしまうものもありました。だからって目をそむけずに、あの日あ 今までのことが詳しく記されていました。なかには、目をつむっ

8月6日(月) 平和記念式典

●式典にはものすごく多くの人が参列していました。私の 前の席の人は外国の方でした。他にも多くの外国の方を

ている人がたくさんいるの 見かけました。国をへだてて も戦争や平和について考え だなと改めて実感しました。

こども代表の平和へのちかいで「平和とは、夢や希望を持てる では争い事がなくなりません。世界中の人々が平和になってほ 未来があること」と言っていて、とても共感できました。世界 しいと私は願います。(戸口)

子ども代表の平和への誓い

知って考えるだけじゃなく、知ったうえで、考えたうえでどうし 向き合っていました。私は、平和宣言や平和への誓いを聞いて 世界中の人々が平和問題についてよく考え、よく知り、ちゃんと なかには外国の人や、若い人などいろいろな人が来ていました。 早朝にも関わらず、平和記念式典 は人であふれかえっていました。

式典会場にて

たいかを行動にうつしたいと思いました。(石津)

献花する大使

と強く思いました。(石津)

一川西市の平和モニュメント「瞳(ドウ)」

もかかわらず、地球上の全生命を滅 てもなお余るほどの核兵器が蓄積され、

わが国は世界で最初の核被爆国と 惨禍を絶対に繰り返させてはなりません。

も、核兵器をつくらず・持たず・持ち込 ませずの「非核三原則」を遵守すると 平成元年 (1989年) 7月14日

私は、平和大使として広島へ行き、平和の大切さを学ばせていただ っしゅんにうばわれてしまいます。世 けれど、平和記念式典で「私たちは無 とはむずかしいことかもしれません。 界中から核兵器がなくなってほしい していました。原爆が落とされると罪のない多くの人たちの命がい きました。広島では多くの高校生が核兵器廃絶のための署名活動を 力ではないのです」と子ども代表は と切に願います。核兵器をなくすこ 折り鶴 平和大使になって

をやっていきたいと思います。(戸口) え、後世に残すため、私にできること 広島で学んだ原爆のおそろしさを伝 「平和へのちかい」で言っていました。 平成30年8月6日 東先沒書照票式・1 AUG . 6 . 2018 PEACE MEMORIAL 式典会場前にて

しました。最初は不安だったけど、戦争は二度と繰り返してはなら 私は今回、折り鶴平和大使として広島に行き、平和記念式典に参加 ないということを強く思いました。今まで私たちは聞く側でしたが えていく側にならなければいけない 次は私たちが核兵器廃絶を後世に伝